

第1学年 家庭科 シラバス

1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 評価の観点と内容・評価方法

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価題材・評価場面
I 知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・授業の様子・提出物 ・作業の取り組み状況
II 思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている	・授業プリント ・レポート・作品提出 ・実技実習・小テスト
III 主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・定期考査

3 年間指導計画

1 学期	2 学期	3 学期
B 衣食住の生活（衣分野） ・衣服のはたらき ・目的に応じた衣服の選択 ・日常着の手入れと保管	B 衣食住の生活（衣分野） ・生活を豊かにするものの製作 B 衣食住の生活（食分野） ・安全な調理 ・日常食の調理	B 衣食住の生活（住分野） ・住まいのはたらきとこころよさ ・安全な住まいで安心な暮らし ・持続可能な住生活

4 評価基準・学習のポイント

評価 B の基準

- ・提出物や作品を期限までに提出、完成させる。 ・プリントをすべて記入している。
- ・課題解決に向けて工夫し、意欲的に調べたり、取り組んだりしている。

学習を進めていくときのポイント

☆授業…日常とのつながりを意識して、自分なりの考えを持って積極的に授業に参加する。

☆プリント…すべて記入し、ノートに貼る。プリントには穴埋めするだけでなく、説明の中で大事だと思うことをメモする。気づいたポイントなども記入するとよい。指示された期日に提出を行う。

☆実技実習…忘れ物をしないように事前に確認し、授業では積極的に参加する。